

一般質問

(4面～7面)

6月6日～10日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民進党)	小金井市議会民進党
(リベラル保守)	リベラル保守の会
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(改革連合)	改革連合
(市民会議)	こがねい市民会議
(小金井自民)	小金井自由民主

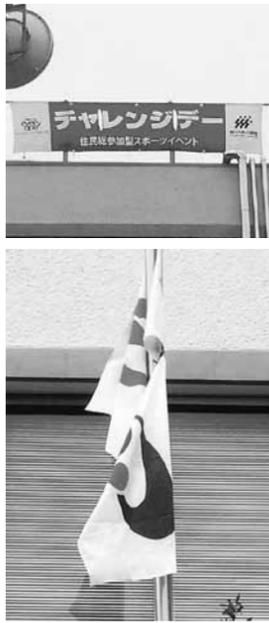
グラントデザイン策定に必要な方針を問う



中山克己(自民党小金井)

市の将来像を幅広く議論できる懇話会的な市民参加の手法を検討したい。誇りの持てる市の創造に向け、新しい目標と具体的な将来をデザインしたい。(イ)庁舎建設予定地での複合新庁舎建設を検討しており、質問に答弁できるような検討はしていない。

■その他、「チャレンジデーの成果と課題」「公共施設2016年問題の影響と今後」「改正公職選挙法への対応」「本庁舎耐震対策の今後」「福祉会館跡地の地上権」「来年度の職員採用試験」「理事者報酬減額への今後の対応」についても質問・提案しました。



チャレンジデー2016PR用横断幕と対戦相手の市章旗掲揚

高齢者住宅に係る経費について問う



露口哲治(自民党小金井)

市は、高齢者住宅164戸を市民サービスとして提供している。これに要する経費は約2億2千万円で、使用料としての歳入は約5千200万円である。単純に1戸当たりの補助金額は100万円以上となり、この金額は平均的な国民年金受給額を上回っている。(ア)高齢者住宅に係る経費を

被災者生活再建支援策と待機児童対策を問う



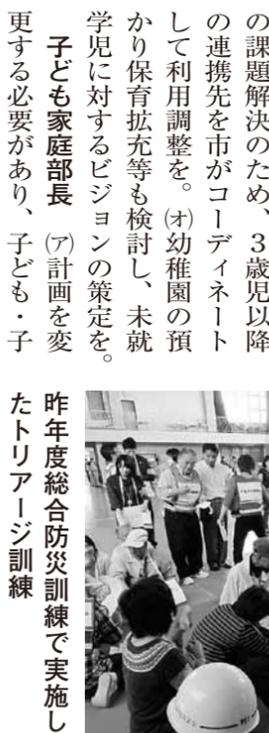
岸田正義(市議会民進党)

①熊本地震で課題となった早期の被災者生活再建のため、(ア)早急に被災者支援システムの導入を。(イ)市の総合防災訓練で罹災証明書発行訓練を行わないか。

■総務部長 (ア)早い導入も想定しながら検討したい。(イ)今年度、罹災証明書発行訓練を行いたい。

②平成28年4月1日現在の待機児童数は速報値で149人。(ア)0歳児推計の誤差に加え、保育希望率の増加が待機児童数減少に至らない原因。早急な今後の推計と方策の見直しを。(イ)現在予定している方策で何人確保できるか。(ウ)その方策で待機児童ゼロを実現できるか。(エ)3歳の壁の課題解決のため、3歳児以降の連携先を市がコーディネートして利用調整を。(オ)幼稚園の預かり保育拡充等も検討し、未就学児に対するビジョンの策定を。

■子ども家庭部長 (ア)計画を変更する必要があり、子ども・子



昨年度総合防災訓練で実施したトリアージ訓練

「地域がいのちを守るまち」実現の課題は



鈴木成夫(市議会民進党)

①熊本地震を踏まえ、避難所運営協議会の組織化と、防災対応型公園整備を検討しないか。

■総務部長 避難所運営協議会は、避難所地域を基本に、地域で活動する団体や組織の代表者、学校教職員、市職員などで構成し、地域の垣根を越えた関係者が避難所運営を理解することが

「食品ロス」への取組を行わないか



小林正樹(公明党)

①日本では、年間千700万トンの食品廃棄物が発生しており、4割は食品ロスである。(ア)食育推進計画に食品ロス対策を明確に掲げるべき。(イ)フードバンクの取組は。(ウ)松本市を参考に、市民全体で食品残渣を減らす取組をしないか。(エ)子ども食堂は孤食の対策として役割を果たす取組めないか。

■福祉保健部長 (ア)平成29年度からの計画の改訂に当たり、具体的取組を盛り込む予定である。(エ)孤食防止に大きな役割を担う引き続き食育の取組強化に努めたい。

■環境部長 (イ)未利用食品について、フードバンクを通じて施設等に届ける施策を今年度中に実施できるよう検討している。(ウ)先進事例を参考に、実現可能な施策を講じる。

②緑小学校のフジの木による緑のカーテンは、ボランティア



ボランティアで育てられたフジの木の緑のカーテン

供の周知と、発達支援コーディネーター設置の検討状況を問う。

■福祉保健部長 昨年12月6日のシンポジウムで普及啓発と意見交換を行い、4月1日の法施行に合わせ、法の趣旨を市ホームページに掲載した。市民に対し、市全体の合理的配慮の取組をどのように周知するかは重要な課題と認識している。児童発達支援センターは、おおむねコーディネーター的役割を果たしている。発達支援コーディネーター設置は、資格の要否、処遇の課題を踏まえ研究したい。